

スーパー耐久レースへの参戦

日産自動車大学校とKONDOLレーシングは2012年からスーパー耐久レースに参戦しています。同時に「プロのレースメカニック技術」、「レース運営のチームワーク」を習得する教育プログラムを構築し、「真のクルマ好き」を育成しています。

背景・狙い

日産自動車大学校は全国に5校あり、約1800名の学生が在籍しており、全国日産販売を中心とした日産グループへ優秀なメカニックを輩出する役割を担い、育成を行っています。一方、KONDOLレーシングは、スーパーGTレースにおける日産陣営の重要な役割を担い、これまで優秀な成績を収めてきました。そこで「真のクルマ好き人財」「組織に通用するコミュニケーション力を持つ人財」を育成する、という両者の目的が一致し、共同プロジェクトが実現しました。

教育コンセプト

プロ意識の醸成、すなわち「チャレンジ」「チームワーク」「コミュニケーション」「責任と信頼」「継続」「感謝」という6つのキーワードを全員で共有し、実現していく。学生はレースという真剣勝負の場や前後の活動で、社会人として必要な【主体性】【チームワーク】【おもてなしの心】【感謝の気持ち】を磨くために、全員がチャレンジし、学びあうことを念頭に置いて活動します。

クラス活動

学級担任と副担任を中心として各クラスで一体感を醸成するために様々な活動を行います。クラスという小さな組織の中で一人一人の結びつきを重視し、一体感を醸成します。

寮活動

西日本各地から愛媛校に入学した新入生全員が寮生活を体験します。団体生活を通して「規律」「協調」「責任」「コミュニケーション力」が養われるようになります。全寮性だからこそできる連帯感は将来の大きな財産となります。

同好会

校内の体育館はだれでも自由に午後8時まで利用できます。気の合った仲間がバドミントン、バスケット、卓球、ウエイトトレーニングと汗を流しています。